



2019年4月10日
株式会社ティップネス

ティップネスが（株）グランドレベルと提携し、新規事業をスタート ティップネス宮崎台 1F に まちの家事室つき喫茶店『喫茶ランドリー』が登場！

関東・関西・中京地区に 60 店舗の総合フィットネスクラブを展開する株式会社ティップネス（本部：東京都港区、代表取締役社長：花房 秀治）は、気鋭のベンチャー企業・株式会社グランドレベル（本社：東京都墨田区、代表：田中元子）と業務提携し、従来のフィットネスクラブ事業の枠組みを超え、店舗の新たな価値創出を目指す新規事業に着手します。この試みは、1 階（＝グランドレベル）の空間づくりを通じて地域活性化に取り組む同社の活動に共鳴しておこなう、フィットネスクラブの 1 階を活用した地域活性化施策です。「運動」とは違う角度からの健康へのアプローチとして「人とのつながり」に着目、既存のティップネス宮崎台 1F に、地域コミュニティの基点とするべく、誰もが利用できる『喫茶ランドリー』をオープンします。

□総合フィットネスクラブの新たな挑戦。「運動」だけでなく、人々を健康にする手段としての『喫茶ランドリー』

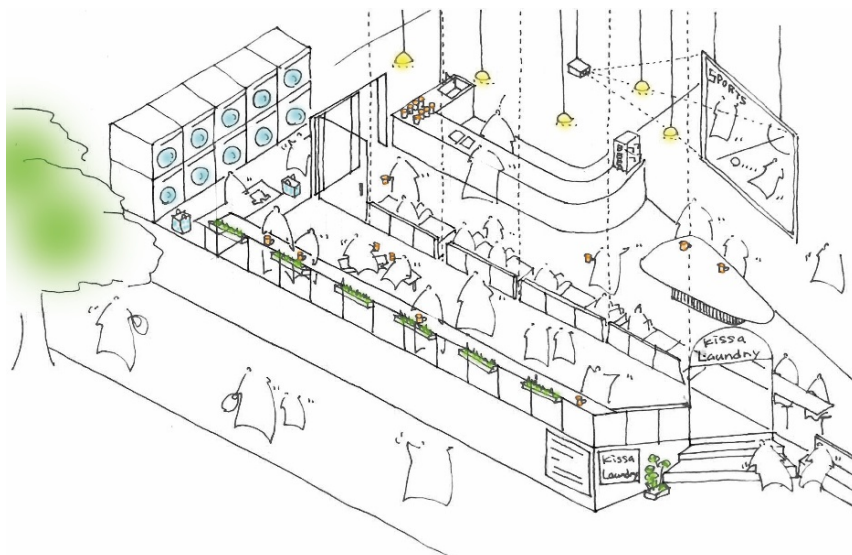
超高齢化時代を迎えるわが国にとって、「いかにして健康寿命を延ばすか」は喫緊の課題のひとつとされています。「孤独は人を不健康にする」という近年の研究データ^(※)があるように、「人との交流は健康増進への有効な手段である」と考え、当社はこれまで提供してきた「運動」とは別のアプローチとして、人と人との交流を創出する『喫茶ランドリー』事業を展開することにいたしました。

『喫茶ランドリー』とは、洗濯機・乾燥機、ミシンやアイロンを備えた“まちの家事室つき喫茶店”です。普通の喫茶店と違い、時間とスペースを地域住民に開放します。0 歳の赤ちゃんから主婦・高齢者・サラリーマンに至るまでが集い、思い思いに自由とその場所を活用し、その結果、多様な年代による様々なコミュニティが自然発生的に生まれてきます。株式会社グランドレベルが昨年 1 月に東京都墨田区にオープンし、これまでに多くのメディアからも取り上げられた 1 号店は、今ではその地域における“私設の公民館”のような役割を果たしています。

当社はこの『喫茶ランドリー』を、ティップネス宮崎台の 1F 路面に併設することで、もともとの往来の多さを活かし、会員・非会員を問わない街の人々の交流の場を提供し、地域の健康増進へ寄与するとともに、地域におけるフィットネスクラブの新たな価値を創造していきます。

なお、オープンは 2019 年 5 月を予定しています。

(※)2014 年 2 月シカゴ大学 ジョン・カシオボ博士「高齢者の孤独と健康リスクの関係」



■株式会社グランドレベルとは

“1階づくりはまちづくり”をモットーに、1階（グランドレベル）にひとびとの営みをつくり出し、そこにある問題を解決しながら、幸福的かつ健康的な「ひと・まち・日常」をつくる“1階づくり”専門の会社。

多くのポテンシャルを秘めているパブリックとプライベートの交差点であるグランドレベルと、潜在的に人々が持つ能動性に注力し、建物・インテリア・外構などの「ハード」、そこで何を提供するか「ソフト」、心に寄り添い人を突き動かす「コミュニケーション」を一体でデザインすることで、その建築や施設、そこに暮らす人々やまち全体を、よりアクティブなものへと成長させていくことを目指す。

「喫茶ランドリー」（墨田区）にて、「2018 グッドデザイン特別賞グッドフォーカス [地域社会デザイン] 賞」受賞。

▶株式会社グランドレベル 会社概要

会社名：株式会社グランドレベル

設立：2016年9月1日

代表：田中 元子

住所：〒130-0025 東京都墨田区千歳 2-6-9 イマケンビル1階 喫茶ランドリー内

事業内容：①建物の1階の企画、運営、デザイン ②コミュニティづくり ③エリアマネジメント



(株) グランドレベルが企画・運営する「喫茶ランドリー」（写真：阿野 太一）

《株式会社ティップネス 概要》

会社名：株式会社ティップネス / 本部：〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル 14F

創立：1986年10月 / 代表者：花房 秀治 / 資本金：1億4000万円

事業内容：フィットネススクラブの経営

店舗数：直営店 158 店舗（「ティップネス」55 店舗、「ティップ・クロス TOKYO」3 店舗、

「ティップネス丸の内スタイル」、「ティップネス日本橋スタイル」、「libéry」、「FASTGYM24」97 店舗）、

受託施設（指定管理含む）15 施設

会員数：約 30 万人